

而シテ若年十月西塩業組合ニ於テハ斯業最元開成ニ
ヨリ翌年五月迄ノ間従来二百十坪ニ渡寄(又四名ヲ充
シ)渡寄トハ塩田ニ於テ土ヲ集ルモノヲ云フ)日給七十元ヲ給與シ
店名カ生産賞節域ノ意味ニ於テ作業坪數百八十坪ニ
寄女三名ヲ充當シ之ニ代ルニ賃銀八十元ニ値上ケスルニトテ
議シタルヲ以テ前記製塩業者之ニ見テ同期ヨリ定率
シテ居タリ

此ニ最近ニ至リ渡寄下ニ四名ハ何等カ奇々協成
シ居ルヲ模探ナルガ去ル二十日ニ至リ西鹽塩業組合
神次玄一ヲ訪問シ

従来四名ニテ担當シタル作業ノ三カニ減セシメルハ
勞力過大シ到底体力永續セズ尙且ツ毎日ノ
時間ノ遲延ニ依リ家事ノ支障ヲ来スルヲ

従前通りニ復旧ヤエ度シト要求シタリ

茲ニ於テ神次組合長ハ同下実施シザル制度ハ勞力
ニ於テ將又賃銀ニ於テ組合トシテ優遇ヤルヲナリセ
トモ之ヲ過大トシテノ要求ニ對シテハ今更ニ容認スルコト
出来テハ以テ各役員協議ノ上何分ノ回答ヲ與フ
ヘシトシ合見ニ付切リタリ

一方該要求ニ應知ラセ水仕(塩釜屋ニ於テ働ク高級
者ノ職カ)十二名ハ該寄女ヲ慰撫スルト共ニ神次組
合長ニ對シテ増員スヘキ事ヲ四月ヨリ増員スルコト
ニシテハ如何ト調停的態度ヲ以テ進言シタル同組合長
ハ役員會ノ結果ナリテハ即答シ難シトテ二十四日午後四
時塩業會合所ニ役員會ヲ開キ各役員ハ各中一員
ニ出席者ニ名ニ過キス協會トナリタルカ更ニ二十六日塩田上